
仕事は正常通りです

御園生 久秀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仕事は正常通りです

【Nコード】

N8939T

【作者名】

御園生 久秀

【あらすじ】

心の中を開かなければ、仕事ができるという話です。

(前書き)

読んでいて気持ちいい小説ではありません。どちらかと言つとエッセイに近い文です。まあ、実際にあつたつまらない話しは書くべきじゃないですね(笑)

朝一番、幸代は誰もいない静かな職場で清掃を行い、今から来る隣の課で働く職員に挨拶するのが日課だ。その挨拶はとても美しく、綺麗な45度で声もおだやかだ。聞いていて不愉快になる人はまずいないだろう。小さい頃から完璧にこなそうとした成果だが、そのせいで、他の人の欠点が目立ち、40過ぎてもいまだに結婚はできてない。完璧すぎるのが問題なのか最近悩むようになっていた。

40も過ぎたおかげで出会いも少なくなり、今の仕事もフリーターの二十歳過ぎ。筋肉のない痩せて冴えないフリーター男がいるだけだ。そんな、男は結婚対象にならない。やはり、公務員などの安定した職をしている人で心が豊かな人が良い。週末の母親との散策に付き合うようなそんな夫が希望だ。

掃除終えた、幸代はパソコンを起動する。すると、先ほどの冴えない男……佐東。その次に同じパートの主婦二人がそれぞれ部屋に入り、各々挨拶して席に着いた。

そのまま黙々と仕事する。仕事は特に話すことはないが無言でしているとかなりつらい仕事だ。似たようなデータをひたすらパソコンに入力していくつまらない作業で飽きるのだ。誰でもいいから何か話してくれればも気もまぎれる。そう思った時、主婦の二人、30代の久美と二人の子持ち50代の美智子が話し始めた。

「久美さん昨日の和歌山市議の言葉聞いた？」

「いえ、聞いてないです」

「市議の給料が払いすぎだから減らせと言う話しなんだけどそれが全然進まないのよ。しかも1千万近く報酬もらっているのにそれでも足りないという議員もいるのよ。どれだけ贅沢なのか訳が分からない」

「はあ」

その言葉に幸代は言葉を足した。

「それは議員の人が秘書にお金を払っているからお金が足りないんですよ。一人250万払うと考えると4人しか雇えません。それに事務所の運営費とかも払わないといけませんからその関係で足りなくなるんですよ」

「けれどね。そんなに払う必要があるの？ 4人もいらないうじゃない。むしろ、経費とかどんどん削れば税金が無駄にかからなくていいじゃない」

「そうすると後援会や地元の声が聞こえなくなるんですよ。だから人が必要なんですよ」

「効率が悪いのよ。もっと効率が良い方法を考えればいいのよ。それこそ、国が秘書の管理とか……」

「確かにそうですね……」

これ以上、話すのが面倒くさくなった幸代は言葉を切った。毎回、分かっているながら口が出てしまう。そして、二人の会話を無視して仕事を始めようと筆記用具に手を伸ばすが、誤って消しゴムを机に落とし、男の方へ飛んでいた。男はそれに気づき、無言で取りに行くが、慌てて拾う。

「大丈夫です」

幸代はそう言って仕事を始めた。

美智子は久美の様子を心配していた。というのも隣の席で働く久美だが、朝からどことなく顔色が悪く見えた。それが昼休み直前で現実になった。久美は顔が青ざめ、徐々にパソコンの打ち込みが遅くなり、ボーとするようになった。

「久美さん大丈夫？」

「すみません。少し具合悪くて……」

「お茶飲む。これ、風邪予防に効くからおいしいわよ」

そう言って美智子は水筒を取り出し、久美のためにお茶を差し出すが、それすら飲めないくらい具合悪かった。

「ポカリでも買ってきましようか？ そろそろ昼休憩ですから」

静かに働いていた男が少し心配そうに口を開く。それに対して美智子は冷たく返す。

「何で？」

「いや、風邪を引いたら水分が必要だ思ったので……」

美智子の態度に佐東は困惑するが、美智子は声を荒げていた。

「ふざけないで、体が冷えるからいらわないわ」

その言葉に無表情だった佐東の口元がゆがんだ……が、すぐに平静さを崩さないように顔を無表情に変わるが、はたから見れば機嫌を損ねているのを隠しきれてなかった。

「分かりました。では、お昼休憩に行つてきます」

そう言つて佐東は部屋を出ていた。

「他に提案することないのかしら夫みたいに頼りにならない男」

美智子はそう言い捨てた。

「今日は早退しますけど久美さんも早退しますか？」

帰り支度していた幸代が心配そうに言った。久美はつらそうに頷く。

「それじゃ上司の方に早退することを伝えときますから、そのまま帰っても大丈夫ですよ。それじゃ」

「いつてらっしゃい。久美さんは私に任せといてください。ところで今日はどんな用事なんですか？」

「コーラスのサークルです。小さい頃からやっていてだらだらとやってるんですけど」と幸代はにこやかに答える。

コーラス。そんなのより、料理の練習でもして結婚相手を探した方がいいんじゃないと口に出そうになったがこらえた。

「そうなの、そんなにやっていたら先生とかになれるんじゃない？」

「入ったりやめたりの際り返しだから先生にはなれません」

「それじゃ駄目よ。結婚生活も我慢なんだから、いつその事先生になろうと頑張つてみたら？」

「そうですね……頑張つてみます」

幸代は荷物を持って部屋を出ていた。自分の娘がああいう風に行

き遅れになつて欲しくないわね。その後、久美を連れて玄關まで送った。

夕方、佐東はバイトを終わらせると冷え冷えとした顔で「お疲れ様でした」と誰もいない方向に……美智子の耳に聞こえるように言つた。美智子も振り向かず「お疲れ様」と言つた。

自転車に乗りながら誰もいない所で口を開く。

「うぜえばあだった」

それは幸代と美智子に対しての言葉だった。

「なんだ。あの避けよう。俺だつてお前の消しゴムなんて拾いたくないわ。けど、拒否したらお前みたいな女はうるさく言うだろ。だから仕方なく拾つて渡そうとしてやったのに嫌な対応だわ。お前なんか興味ないし、料理も性格の悪いばあが良いい結婚先があるわけないだろ。何が公務員だ。わざわざ料理できもしない、年を食つた女と結婚する男がいるわけないだろ。コーラスより料理しとけよ」

誰もいない所で佐東は悪口を続ける。

「しかし、昼のばあもうざかった。こっちがせっかく心配して飲み物を買つてこようと思つたのにあの言葉は何だ。人の親切に気付けない駄目人間。あんなで息子や娘に尊敬されて言つてるけど、実際どうなんだろうな？ 人の悪口言つてばかりで『けれどね』言つて人の意見をつぶす人が尊敬されると思えんけどな。おまけに昼に帰つたばあがいないときは、いつもその人の悪口ばかり言つてる。今日は相方が病気で早退したから悪口を聞かずに済んだけど、いる時は悪口しか言わねえ。他に言つてもスイーツとかの話。あんなばああとは結婚して養いたいくないね」

言いたいことを言い終えると佐東は少し落ち着きを取り戻す。

「とりあえず、明日も頑張るか。はあうぜえなあ」

佐東はそのままコンビニ行き、お酒とつまみを持って自宅に戻つた。

幸代はいつものように職場を簡単な清掃をしていた。昨日のコーラスはストレス解消になった。昨日の美智子の話しはストレスがたまった。今日もつまらない仕事の始まりだが、週末にはお見合いパーティーだ。次こそ、良い人を射とめよう。もっと、自分の内面を理解して来るを見つければきつと結婚は出来るはず、それこそ、目標の公務員で心豊かな人が見つかるはず。幸代はそれを信じて疑わなかった。

そして、今日も佐藤・美千代・久美が職場に入り、正常に仕事が始めた。

(後書き)

ええ、なんでこんなに悪口が多いのとつつこむ人がいるでしょう。まあ、全部書いたらだるくなるのではっしょりしましたが、全部が言っていた悪口です(笑) 悪口しか言えないのかと笑えるくらい悪口しか言いません。あれは面白い。私の場合、完全に空気扱いなのでめっさ悪口を聞いてました。おかげでこうやってネタにできるんですよね(笑)

まあ、どんなに仲が険悪でも1人でやる仕事は周りますね。もつともフリーターの自分を鵜呑みしたらいけないよ。正社員じゃないフリーターの仕事話はせいぜい高校生程度にしか通じませんから。さて、つまらないものを書いた。次はもつとわくわくする話しを書こう。読んでいて気分悪くなった人、ごめん。今度は面白いのを頑張って書くから許して。それじゃね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8939t/>

仕事は正常通りです

2011年6月7日10時10分発行